

赤潮情報第42号

（八代海：シャットネラ属 警報 続報、カレニア ミキモトイ 注意報 続報）

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部

TEL0964-56-2613 FAX56-4533

シャットネラ属が3細胞 確認されており、引き続き警戒が必要です。

本日、熊本県が調査したところ、シャットネラ属が宇城市戸馳島等で海水1mL 当たり最大 3細胞、確認されました。また、カレニア ミキモトイも天草市楠浦湾で最大 180細胞、確認されました。海況によって、増殖するおそれがありますので、引き続き警戒が必要です。

両種ともに有害で、特にシャットネラ属は、海水が着色しない程度の細胞数でも魚介類がへい死する恐れがあります。周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、海の色の変化や養殖魚等の状態に十分注意するとともに、餌止めや赤潮駆除剤散布等の対策を行ってください。

※数字は水深0m, 2m, 5m, 10m層の海水1mL 当たりのシャットネラ属の細胞数、()の数字はカレニア ミキモトイの細胞数です。
×印: 全ての採水層でシャットネラ属及びカレニア ミキモトイが0細胞の調査点。

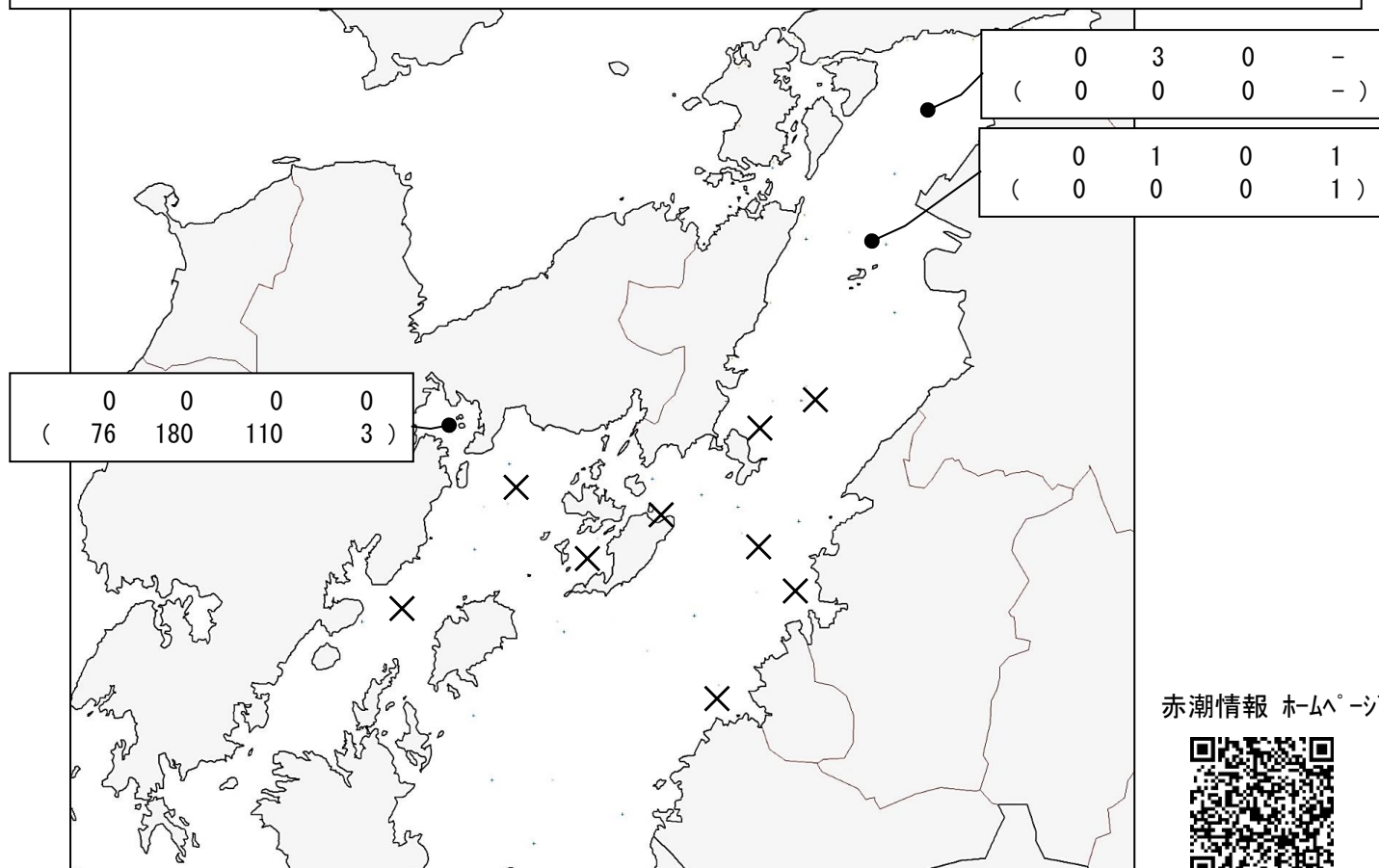


図 赤潮発生海域

赤潮情報 ホームページ



赤潮ネット



調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください（ホームページの更新に時間を要する場合があります）。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>赤潮ネット https://akashiwo.fra.go.jp/public/kaikuInit.php?qkaiku_id=1&sid=1